

# 局長表彰 優良工事

建築工事課

<p>工 事 名</p>	<p>令和5年度 県立美術館外壁修繕他工事</p>
<p>工 期</p>	<p>令和5年6月21日 ～ 令和6年2月5日</p>
<p>工事概要</p>	<p>本館 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 延床面積9,239㎡ ロダン館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延床面積3,024㎡ 上記に係る改修工事一式</p>
<p>受 注 者</p>	<p>駿河工業株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 高橋 隆一</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、県立美術館本館及びロダン館の外壁タイルの欠損やひび割れ等の外壁修繕工事、バス停・駐輪場の鉄部の塗装修繕工事、建物内で結露が生じるガラスのサッシ修繕工事を行ったものである。</p> <p>本工事の受注者は、騒音・振動作業等に関する制限の厳しい美術館において、施設管理者からの作業の中止や制限の要請等に対して、施設管理者と十分な協議を重ね、柔軟に工程を修正するなど、トラブルなく円滑に工事を完成させた。</p> <p>タイル剥落防止工事においては、タイルへ穿孔したアンカーピンの跡が目立たなくなるよう、タイルと同じ加工をしたピンキャップを取付けることによる品質向上を図った。</p> <p>また、美術館の来館者への安全面に配慮し、仮設足場設置においては、赤色注意灯やコーナークッション、高さ注意喚起表示を設置すると共に、夏場の作業中にはWBGT温度計の設置やスプリンクラーによる散水により現場作業員の熱中症対策を行い、事故なく工事を完成させた。</p> <p>さらに、まちじゅうアートや東アジア文化都市のポスター等を現場の仮囲いに掲示することで工事現場のイメージアップにも務めた。</p> <p>このように、工程管理、品質管理、安全対策、イメージアップ等について優れた功績を残し、静岡県における建設業の発展に特に貢献した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>注入口付アンカーピン化粧キャップ取付け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まちじゅうアート</p> </div> </div>

# 局長表彰 優良工事

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和3年度 大仁警察署庁舎新築他工事（電気設備）</p>
<p>工 期</p>	<p>令和3年12月23日 ～ 令和5年6月30日</p>
<p>工事概要</p>	<p>庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 3,658.84㎡                  付属棟 鉄骨造2階建 延床面積 878.91㎡                  上記に係る電気設備工事一式</p>
<p>受注者</p>	<p>大野電機工業株式会社</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 酒井 修久</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、大仁警察署の老朽化に伴う警察署庁舎棟及び付属棟の新築に係る電気設備工事である。</p> <p>本工事は、警察施設特有の電気設備が多くあり、特殊照明器具、監視カメラシステム及び防犯システムの設備は、特殊性の高い工事であった。</p> <p>本施工者は、警察職員の施設運用や一般来訪者の動線、使い勝手に配慮した照明制御を提案するなど、施設利用者に十分に配慮した施工を実施した。</p> <p>また、建築工事や機械設備工事と機器配置等の調整を綿密に行い、機器仕様や使用方法等を施設管理者と十分に調整の上、監視カメラの設置場所や画角を何度も調整したり、施設の特性上、照明器具の固定金具を天井内に隠蔽するなど、品質の高い施工を行った。</p> <p>さらに、商用回路と発電機回路との照明スイッチや電気配線を色分けすることで維持管理の向上に寄与するとともに、防音性が求められる部分へ設置するボックスへ遮音カバーを設置するなど、施設運営に配慮した施工を行った。</p> <p>このように、品質管理や出来映え等について高い技術力を発揮し、施設運営に配慮した工事を実施した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>総合防災盤</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>屋上キュービクル</p> </div> </div>

# 局長表彰 優良技術者

設備課

工事名	令和3年度 焼津水産高等学校管理教室棟新築他工事（電気設備）
工期	令和4年1月19日 ～ 令和6年1月12日
工事概要	管理教室棟 鉄骨造 7階建 延床面積 5,153.73㎡ 南館（一部改修）鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積3,623㎡ 上記に係る電気設備工事一式
受注者	株式会社朋電舎
技術者名	監理技術者 萩原 元
表彰理由	<p>本工事は、焼津水産高等学校管理教室棟建替工事に伴う、電気設備工事である。</p> <p>本工事は、使用している校舎2棟に挟まれた狭小敷地に地上7階建ての校舎を建てる工事であり、他工事との調整と、学校運営の両方に配慮しながら、限られた工期の中で工事を完成させるという難易度の高い工事であった。</p> <p>本工事の監理技術者は、このような条件に対応するため、既存校舎の調査を綿密に行い、切替工事の影響範囲を事前に把握した施工計画を立案し、施設管理者や関係者に図面や作業手順書を利用して丁寧に説明を行ったうえで、適切な工程管理・施工管理を行った。</p> <p>また、少しずつ変化する現場状況に対応するため、安全計画を都度見直し、施設の利用者と共有することで、狭い工区の中で事故無く工事を完成することができた。</p> <p>さらに、県どぼくらぶ講座による高校生見学会や設備協会主催の若手技術者向けの現場研修会等、複数の研修会に協力し、建設業界のイメージアップに取り組んだ。</p> <p>このように、本工事は周辺施設を利用しながらの工事であったが、安全対策、工程管理等で高い技術力を発揮した。</p>
写真	   <p>1階玄関</p> <p>屋上キュービクル</p> <p>教室</p>

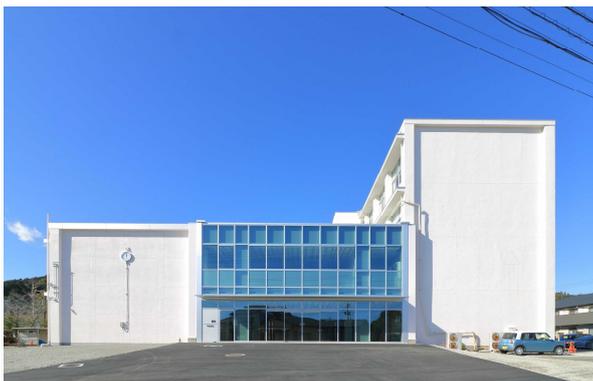
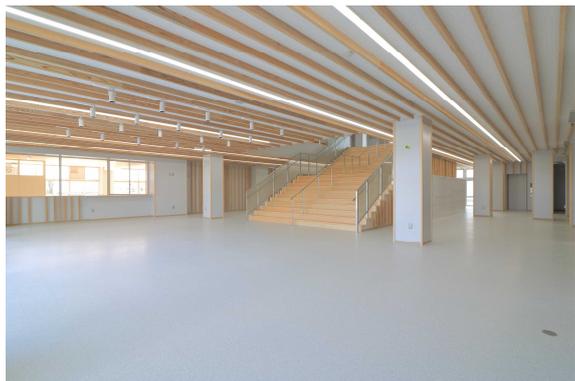
# 局長表彰 優良技術者

設備課

<p>工 事 名</p>	<p>令和4年度 グランシップ監視カメラ設備更新工事</p>
<p>工 期</p>	<p>令和4年7月27日 ～ 令和5年8月15日</p>
<p>工事概要</p>	<p>監視カメラ設備（ITV、カメラ155台、モニター、レコーダー、操作用PC等）の更新 上記に係る電気設備工事一式</p>
<p>受 注 者</p>	<p>株式会社シズデン</p>
<p>技術者名</p>	<p>監理技術者 佐藤 拓巳</p>
<p>表彰理由</p>	<p>本工事は、グランシップの敷地全体に設置されている監視カメラ設備の更新を図るものである。</p> <p>本工事は、施設を運用しながら敷地内の様々な箇所に設置されている監視カメラを更新する工事であり、大規模イベントでの監視カメラの利用要望に応えたり、各施設毎の工事タイミングを調整するという難易度の高い居ながら工事であった。</p> <p>本工事の監理技術者は、各施設の担当者と綿密に打合せを行い、切替期間中であっても監視が必要な場所を施設管理者と協議の上選定し、全ての監視を行う防災センターに先行してモニターを1面設置し、そこへ更新後のカメラデータを取り込むことで、既存と新設の監視を同時に行うことで、各施設に与える影響を最小限とした。</p> <p>また、施設管理者のみならず操作を担当する警備員にまで簡易操作説明書を用いて操作説明会を実施することで、引渡し後の運用をスムーズにした。</p> <p>このように、本工事は施設を運用しながらの工事であったが、施設管理への影響を抑え、工程管理に高い技術力を発揮した。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>防災センター警備モニター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>操作説明会</p> </div> </div>

# 局長表彰 優良技術者

設備課

工事名	令和4年度 志榛地区新構想高等学校新館増築他工事（電気設備）
工期	令和4年12月23日 ～ 令和6年2月28日
工事概要	【増築】新館 鉄骨造 4階建 延床面積 805.98㎡ 【改修】A棟 鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 3,784㎡ (改修面積1,203㎡) 【耐震補強・改修】B棟 鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積2,250㎡ 上記に係る電気設備工事一式
受注者	株式会社暁電工
技術者名	監理技術者 森川 利彦
表彰理由	<p>本工事は、志榛地区新構想高等学校の新館増築、A棟改修およびB棟耐震補強・改修に係る電気設備工事である。</p> <p>本工事は、施設を使用しながらの工事であったため、学校運営への影響が最小になるよう配慮が必要で、騒音や振動が発生する作業の制限や、施設要望による工事完了部分の早期使用への対応など、工程的な制約が特に厳しい中、限られた工期で確実に工事を完成させる必要があった。</p> <p>本工事の監理技術者は、施工にあたり、施設管理者や各工事関係者と綿密に調整を行うと共に、掘削工事においてキュービクル設置箇所周辺や校舎周辺の埋設配管を敷設する際に掘削するルート100m程についてレーダー式地中探査機を使い、既存の地中埋設物の調査を行い、かつ危険箇所は手堀りによる掘削を行うなど、施工に伴う提案や工夫をもって施工管理を行った。</p> <p>また、近年高圧ケーブルの遅延が問題になっていたが、社会情勢の把握に努め、早期に材料を手配するなど、適切な工程管理を行い、工期内に遅滞なく工事を完成させた。</p> <p>このように、本工事は周辺施設を利用しながらの工事であったが、安全対策、工程管理等で高い技術力を発揮した。</p>
写真	 東面外観  生徒ホール

# 局長表彰 優良技術者

設備課

工事名	令和5年度 県立美術館吸収式冷温水発生機更新他工事	
工期	令和5年6月27日 ～ 令和6年2月15日	
工事概要	県立美術館 本館 鉄筋コンクリート造 2階建 9,239㎡ 吸収式冷温水発生機1基、冷却塔1基、送風機6台、消火ポンプ1台他の更新 上記に係る機械設備工事一式	
受注者	株式会社ザ・トーカイ	
技術者名	監理技術者 松田 浩明	
表彰理由	<p>本工事は、県立美術館に設置されている吸収式冷温水発生機等の機器の更新を図るものである。</p> <p>本工事は、限られた休館期間（約2ヶ月）のなかで主に機械室内に設置された吸収式冷温水発生機、冷却塔、送風機、消火ポンプ等を更新する必要があった。</p> <p>本工事の監理技術者は、工事エリアや空調停止期間などについて、美術館との細やかな調整を行い、資材の調達から現場作業員の確保、現場作業の進捗管理、関連工事業者との綿密な連絡調整を実施することで、作業時間が限られる中、短期間で確実な施工を実施した。</p> <p>また、施工においては、限られた機械室スペースでの設備機器の納まりを検討し、メンテナンスを考慮した配置とすることで維持管理の向上につなげるなど、高い技術力で工事を完成させた。</p> <p>さらに機器固定のアンカーを設置する全箇所について、既存コンクリート内の鉄筋のレーダー探査を行い、あと施工アンカーが既存の鉄筋を傷つけること無く、確実で精度の高い施工を行った。</p> <p>このように、限られた作業時間の中で確実な施工を実施し、維持管理、施工管理に優れた工事を実施した。</p>	
写真	 屋上 冷却塔	 吸収式冷温水発生機